

書簡

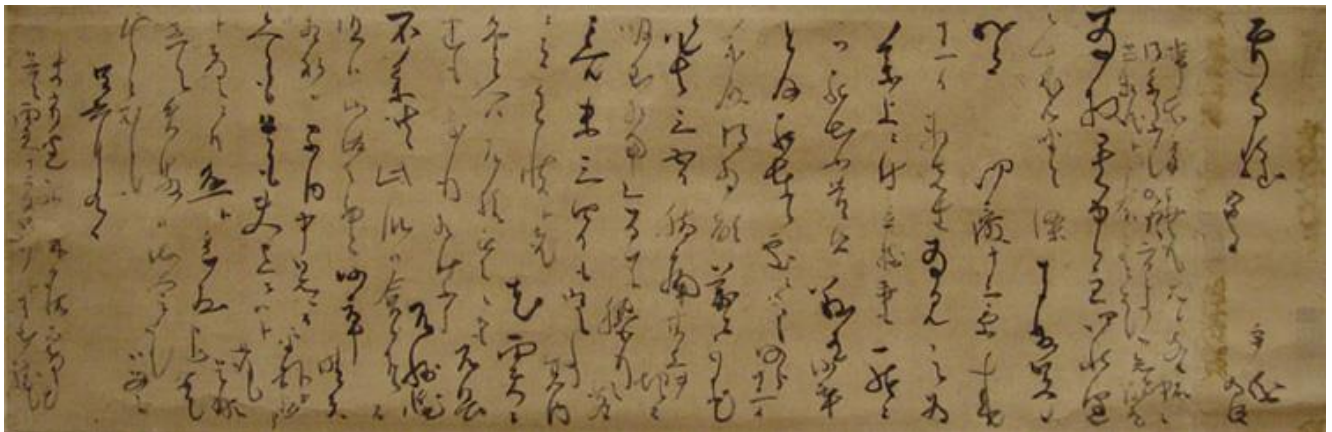
頼山陽

制作年：江戸後期

サイズ：16.8×51.8cm

材質：絹本墨書

所蔵：中津市木村記念美術館



正行寺様

事前に承らせ候へ共□□□故中々

御参り不申候ハ十二日之事御知せ難有候。

尚頼氏ト申合候半と奉存候

拜受暑中之至御壯健

被成御座候条、奉敬賀候

然者 御 来ル

十二日頼先生拜見之為

参上二付景樹事も一緒に

可罷出不苦候旨 難有何卒

と存罷在候処二御さ候、何分十日

ノ善故、得拜顔萬々可申上候。

乍去三五日脚痛、其上を切候而

吸玉相用、今日ナト膝行之仕合

二候へ共、未三四日も明候事、其内

二者全快ト奉存候、尤雨天に

御座候へハ、左様無之候而も乍畏

迫も歩行相叶不申、乍慙愧

不参仕候、此段御含被下候而

宜御沙汰奉希候、何卒晴天

相折候、家中中番ニ而平臥シ居申

候へとも、是も夫迄ハト奉存候、是非

ト奉存候二付態上宜敷申上可被下候。

真一々失敬御海容可被下候 御答

頓首不

閏六月九日

□□□□ 御供可希候

呉々雨天ナニヌヤウト奉至禱候

本文：上記

箱書：表「景樹消息」

裏「本姓荒井氏 清水貞園ノ門景柄ノ嗣香川景樹消息正行寺雲華宛歌道桂園派頭領従五位下肥後守天保十四年没七十六才」

1996(平成8)年に中津市に寄贈

香川景樹（かがわかげき、明和5(1768)～天保14(1843))は江戸時代後期の歌人です。鳥取に生まれ、桂園と号しました。歌人香川景柄の養子となりますが、後に独立し、独自に和歌の革新に取り組みました。また、古典研究にも優れた才能を発揮しました。歌集「桂園一枝」などの著書があります。